

**製品名:** ヒドロキシルヒストン H2A (Tyr39) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe03278

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	ヒドロキシル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 14 kDa; Observed MW: 14 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	H2AC4 H2A.1; H2A/c; H2A1; H2AFC.; H2AFD; H2AFI; H2AFN; H2AFP; HIST1H2AG; HIST1H2AI;
別名	HIST1H2AK; HIST1H2AL; HIST1H2AM; histone cluster 1; H2ai; Histone H2A type 1; Histone H2A/p
遺伝子 ID	3012
SwissProt ID	P04908
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成ヒドロキシル化ペプチド

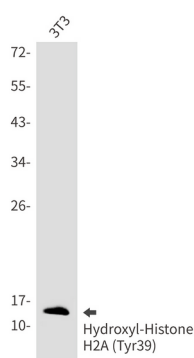
## 背景

ヌクレオソームの中核構成要素。ヌクレオソームはDNAをクロマチンに包み込み、DNAを鋳型として利用する細胞機構へのDNAのアクセスを制限します。そのため、ヒストンは転写制御、DNA修復、DNA複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNAへのアクセスは、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれます）とヌクレオソームリモデリングによって制御されています。

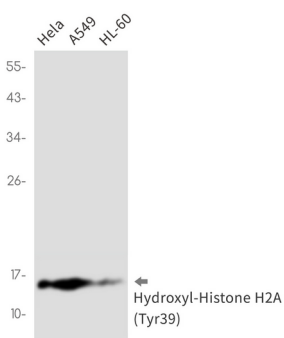
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

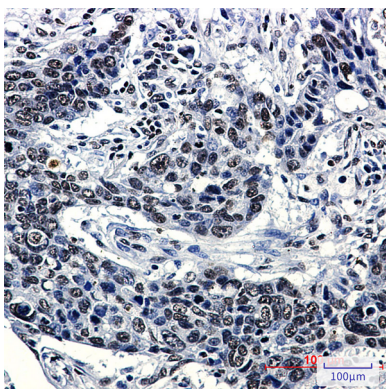
## 画像データ



ヒドロキシルヒストン H2A (Tyr39) 抗体を使用した 3T3 溶解物中のヒドロキシルヒストン H2A (Tyr39) のウエスタンブロット分析。



ヒドロキシルヒストン H2A (Tyr39) 抗体を使用した、HeLa、A549、HL-60 溶解物中のヒドロキシルヒストン H2A (Tyr39) のウエスタンブロット分析。観察されたバンドサイズ: 14kDa。



ヒドロキシルヒストン H2A (Tyr39) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。